

廃炉発官 R1 第 38 号
令和 元 年 6 月 28 日

原子力規制委員会 殿

東京都千代田区内幸町1丁目1番3号
東京電力ホールディングス株式会社
代表執行役社長 小早川 智

福島第一原子力発電所 保安検査における指標の提出について

平成 28 年 4 月 13 日付「保安検査における指標の収集について（指示）」（原子力規制委員会 NRA-Ca-16-001）に基づき、福島第一原子力発電所の平成 30 年度分データをとりまとめましたので、別紙のとおり提出いたします。

別紙

・平成 30 年度 福島第一原子力発電所 保安検査における指標について

以 上

別紙

平成30年度
福島第一原子力発電所
保安検査における指標について

令和元年6月

東京電力ホールディングス株式会社

No.	指示文書による指標	収集データ	平成30年度	備考
1	作業計画 安全上重要な設備 ^{※1} 、重大事故等対応設備及び多様性拡張設備に対して計画された保守作業件数及び完了済みの保守作業件数	実施計画の運転上の制限に記載されている機器において、保全計画で定められた定期的の実施するもの以外で不具合等により突発的に実施する保守・改造・修繕工事の回数	4件	運転上の制限に記載されている設備に要求されている機能に影響する設備の不具合に関するものが対象
2	安全上重要な設備 ^{※1} 、重大事故等対応設備及び多様性拡張設備に対して作業期間に係る計画変更を複数回行った件数	実施計画の運転上の制限に記載されている機器において、保全計画で定められた定期的の実施するもの以外で不具合等により突発的に実施する保守・改造・修繕工事等で、工事の計画時に設定した作業期間を2回以上変更した件数	0件	PTWの作業期間変更回数
3	手順書を変更して実施した作業件数	実施計画の運転上の制限に記載されている機器において、保全計画で定められた定期的の実施するもの以外で不具合等により突発的に実施する保守・改造・修繕工事の件数のうちの暫定的な工事件数	0件	「暫定的な」とは、後に別の恒久対策が予定されているが、当該恒久対策とは異なる一時的な対策
4	訓練の種類別の合計実施回数・合計訓練時間・合計参加人数	①原災法に基づき総合訓練および要素訓練の回数・人数 ②①の訓練評価に係るコメント数(訓練報告書に記載するコメント数)	①訓練の回数・人数 【総合訓練】 1回 463名 【要素訓練】 ・モニタリング訓練 16回 延べ85名 ・アクシデントマネジメント訓練 12回 延べ77名 ・電源機能等喪失時訓練 275回 延べ1425名 ②訓練評価に係るコメント数 【総合訓練】 2件	防災訓練実施結果報告書に記載する期間を集計
5	リスク 定検期間中のΔCDF(炉心損傷確率の変化)の最大値	対象外	-	-
6	警報 制御室警報表示の点灯件数(予期せぬ警報に限る)	対象外	-	-
7	安全文化 安全文化醸成活動に関する評価(検査)結果	安全文化醸成活動に関する評価(検査)結果	①ドレイフの振り返り活動 ・取組みは概ね計画通り実施 ・副所長・ユニット所長・原子炉主任技術者による安全文化10特性総合評価継続(評価指標) ・評価平均点数 ^{※1} :2.3点(H29年度2.4点から0.1点ダウン) ・低評価(弱み):OACOP,WP*(平均点2.3点以下) (H29年度から低評価(弱み)継続) ②不適合(HE)低減に絞った活動 取組みは概ね計画通り実施 不適合(HE)発生件数(評価指標):124件 (H29年度106件を超過)	①ドレイフの振り返り活動の取組み ・日々の振り返り活動 ・グループ単位での対話活動 ・経営層による安全文化レビュー ・部長職以上のグループ対話参加 ②不適合(HE)低減に絞った活動の取組み ・安全事前評価におけるリスク検討 ・MOIによる気づきに基づく安全コミュニケーションの強化(管理職によるMOの実施) ・GMの研修等の積極実施 ・不適合の記録、計画立案/ロードマップの作成、処置完了期日の遵守による早期解決 *1 評価点数:1~2点 *2 安全文化10特性 ・OA:思いがける姿勢 ・CO:安全を強化するためのコミュニケーション ・PI:問題の特定と解決 ・WP:仕事の計画・管理
8	不適合関連 不適合発生件数	NG I ~ NG III 毎の不適合発生件数	NG I : 5件 NG II : 70件 NG III : 561件	
9	不適合の処置が完了するまでの平均期間	年度末時点における、是正処置未完了の不適合件数(集計は不適合グレード毎)	NG I : 4件 NG II : 29件 NG III : 96件	
10	不適合の再発件数	是正処置の検討を要する全ての不適合で再発した件数	NG I : 0件 NG II : 11件 NG III : 17件 再発判定倍: 2件	
11	不適合のうち安全上重要な設備 ^{※1} に関する件数	是正処置を要する全ての不適合のうち、実施計画の運転上の制限に記載されている機器に関する件数	NG I : 1件 NG II : 2件	No.1で抽出された事象のうち、NG I・NG IIの不適合
12	ヒューマン・エラーに起因する不適合件数	ヒューマンエラーと判定した不適合件数	124件	
13	不適合のうち水平展開が必要と判断した件数、完了までの期間及び完了件数	①年度内に発生した影響評価書の件数 ②年度末時点で未完了となっている影響評価書の件数(過年度からの繰越し案件を含む)	① 10件 ② 13件 年度内発生のうち未完了の件数(7件) 過年度からの繰越し件数(6件)	
14	RCA 根本原因分析を要する事象件数と直接原因分析を要する事象件数	・根本原因分析(RCA)実施件数 ・直接原因分析(NG IのHE)実施件数	根本原因分析:0件 直接原因分析:2件	
15	集積根本原因分析 ^{※2} を要する事象件数	共通要因分析実施件数	0件	

No.	指示文書による指標	収集データ	平成30年度	備考
16	内部監査の実施回数	内部監査の実施回数	16回	
	内部監査の指摘事項件数	内部監査の指摘事項・要望事項・良好事例それぞれの件数	指摘事項: 4件 要望事項: 4件 良好事例: 9件	
	内部監査の指摘事項の処置を完了するまでの平均期間	内部監査の指摘事項の処置を完了するまでの平均期間	55日	
	内部監査の指摘事項の処置期限の達成割合	内部監査の指摘事項・要望事項の処置期限の達成割合	100%	
	内部監査による指摘事項の再発件数	内部監査による指摘事項・要望事項の再発件数	0件	
21	マネジメントレビューの実施回数	社長の行うマネジメントレビューの実施回数	1回	「2017年度マネジメントレビュー」として2018年6月に実施したものをカウント(「2018年度マネジメントレビュー」は2019年6月に実施)
	マネジメントレビューによる指示事項と未完了件数	①社長の行うマネジメントレビューにおける指示事項件数 ②当年度レビュー実施後の時点での未完了の件数	①5件 ②0件	同上
	マネジメントレビューによる再指示件数	社長の行うマネジメントレビューによる再指示件数	0件	同上
	発電所長レビューによる指示事項と未完了件数	①発電所長レビューにおける指示事項件数 ②当該年度下期レビュー実施後の時点での未完了の件数	①0件 ②0件	
	発電所長レビューによる再指示件数	発電所長レビューによる再指示件数	0件	
26	外部機関によるレビューの実施回数	外部機関によるレビュー・検査等の実施回数	保安検査 4回	保安検査及びIAEAのOSARTを対象とする。WANO/JANSIによるレビュー、原子力安全監視室による監視評価は対象としない。
	外部機関からの指摘事項件数	外部機関によるレビュー・検査毎の指摘事項件数	保安検査 2件	
	外部機関の指摘事項の処置を完了するまでの平均期間	指摘事項の処置を完了するまでの平均期間	保安検査 40日	
	外部機関の指摘事項の処置期限の達成割合	指摘事項の処置期限の達成割合	保安検査 50%	
	外部機関による指摘事項の再発件数	外部機関によるレビュー・検査毎の指摘事項の再発件数	保安検査 0件	

※1 発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する安全指針で定められているクラス1、クラス2、クラス3に属する構築物、系統及び機器
 ※2 複数の類似事象から共通的な問題を抽出し解決する根本原因分析(RCA)